

盛岡広域管内流域基本計画

資料編

① 計画対象区域の自然 ～未来に引き継ぐ宝物～	1
② 計画対象区域の一級河川及びその延長等	3
③ 河川等の水質測定結果（平成 17～26 年）	4
④ 用語説明	5

資料編① 計画対象区域の自然 ～未来に引き継ぐ宝物～

名称	指定種別	圏域（市町）	概要
十和田八幡平 国立公園	国指定 （国立公園）	盛岡西・盛岡北 （八幡平市・滝 沢市・雫石町）	十和田八甲田地域と八幡平地域の二地域からなる山岳公園であり、岩手県には八幡平地域が属している。 当地域は、八幡平、岩手山、秋田駒ヶ岳などの火山群で構成されており、これらの山麓には温泉も湧出し、いわてを代表する温泉観光地となっている。 また、各山岳地域にはコマクサやチングルマをはじめとした高山植物が咲き、多くの登山者が訪れている。
岩手山高山植 物帯	国指定 （天然記念物・ 植物）	盛岡西 （滝沢市）	西岩手火山の火口壁から東岩手火山の裾（不動平と呼ぶ第一火口原）にかけて高山植物群落形成されている。 これから上の火口丘一帯は、火山砂礫が堆積し、いわゆる高山荒原の様相を呈しており、限られた植物だけが見られる。不動平火口原から上は、コマクサなどの高山荒原に生える第一次高山植物が点在し、これに対し不動平一帯は、ハイマツを主とし、コケモモなどの第二次陽性植物群落になっている。
春子谷地自然 環境保全地域	県指定	盛岡西 （滝沢市）	岩手山南東の鞍掛山山麓の標高約 450m にある本県最大規模の低層湿原である。
葛根田の大岩 屋	国指定 （天然記念物・ 地質鉱物）	盛岡西 （雫石町）	一般には玄武洞と呼ばれる葛根田の大岩屋の柱状節理は、清冽な川のそばにそそり立つ景観は見事である。
白沼のモリア オガエル繁殖 地	県指定 （天然記念物・ 動物）	盛岡西 （雫石町）	滝ノ上温泉から烏帽子岳に向かう登山道の中頃に白沼では、周囲がブナ・チシマザサ・ヤナギなどで囲まれ、そこにモリアオガエルが棲んでいる。
柳沢大湧口	県指定 （いわての名水）	盛岡西 （滝沢市）	岩手山麓一帯が馬産地であった頃、馬が水を飲みに来まった所。また、宮沢賢治の詩集「春と修羅」の中で「あの柳沢の湧水」と詠われた。
区界高原自然 環境保全地域	県指定	盛岡東 （盛岡市・宮古 市）	標高 700m にある広大な高原地帯で、兜明神岳の裾野にシラカバ林と草原が広がっている。
盛岡石割ザク ラ	国指定 （天然記念物・ 植物）	盛岡東 （盛岡市）	盛岡市の中心の盛岡地方裁判所の前庭にある巨大な花崗岩の割れ目に成育した樹齢およそ 350 年のヒガンザクラである。
シダレカツラ	国指定 （天然記念物・ 植物）	盛岡東 （盛岡市）	約 300 年前に花巻市から移植されたシダレカツラは、すべての枝が枝垂性で、下の枝が地面まで達する美しい樹姿で、カツラの変種として珍稀である。
竜谷寺のモリ オカシダレ	国指定 （天然記念物・ 植物）	盛岡東 （盛岡市）	竜谷寺にある老樹で、大正 9 年（1920）故三好学が同寺で発見し、発見地の名前をとってモリオカシダレと名付けられたシダレザクラの一種である。
山岸のカキツ バタ群落	県指定 （天然記念物・ 植物）	盛岡東 （盛岡市）	道路造成その他のため、周辺の環境が変わり、一時水湿不足やヨシの繁茂によってカキツバタが危機に瀕した時があったが、雑草除去、水路や区画整理など保護管理を行ったため、現在では毎年見事に開花している。
大慈清水・青龍 水	国指定 （平成の名水）	盛岡東 （盛岡市）	江戸時代から地域の人々の生活を支えてきた井戸水。用水組合は明治 8 年から活動を続け、伝統的なルールが守られている。

名称	指定種別	圏域（市町）	概要
中津川綱取ダム下流	国指定 （平成の名水） 県指定 （いわての名水）	盛岡東 （盛岡市）	川のまち盛岡のシンボルの一つ。盛岡市の中心部を流れ、散歩、水遊び、釣りを楽しむ人々が訪れている。渡り鳥や鮭の産卵の観察することができる。
勝源院の逆ガシワ	国指定 （天然記念物・植物）	盛岡東 （紫波町）	樹齢はおよそ 300 年と推定され、普通のカシワと異なり、地面を這うように伸びており、樹勢も極めて旺盛で、異形のカシワとして貴重である。
外山早坂県立自然公園	県指定	盛岡北 （盛岡市・岩泉町）	岩洞ダムによる人造湖、岩洞湖を中心とした地域と、早坂峠を中心とした高原地域の 2 地域からなる公園。 岩洞湖の北西には美しい稜線を持つ姫神山があり、岩洞湖の人工美と姫神山の自然美の調和した景観を望むことができる。
松森山自然環境保全地域	県指定	盛岡北 （八幡平市）	天然アカマツを主体として、中下層にはイタヤカエデなどの広葉樹が混生し、健全な森林が形成されている。現在では、貴重となったアカマツ林を体験することができる。
焼走り熔岩流	国指定 （特別天然記念物・地質鉱物）	盛岡北 （八幡平市）	わが国は火山国で熔岩流は各地で見られるが、焼走り熔岩流はこのように噴出時期が明らかで、噴出後現在まで樹木の生育を見ず、全貌を留めているのは稀であり、わが国の代表的な熔岩流として学術的に極めて貴重である。
大揚沼モリアオガエル及びその繁殖地	国指定 （天然記念物・動物）	盛岡北 （八幡平市）	北ノ又川の北側、東八幡平（屋敷台）から藤七温泉に通じる旧道の傍らにある大沼は、雫石町の白沼と並び県内でも、最も産卵の多いモリアオガエルの繁殖地である。
玉山のシダレアカマツ	県指定 （天然記念物・植物）	盛岡北 （盛岡市）	完全な枝垂性のアカマツで、突然変異によってできたアカマツの一品種で、極めて珍しく貴重である。
金沢清水	国指定 （昭和の名水）	盛岡北 （八幡平市）	岩手山の北麓に湧き出る 7 箇所の総称。多くの伝説があり、「蛇竜の滝」「座頭清水」とも呼ばれている。
長者屋敷清水	県指定 （いわての名水）	盛岡北 （八幡平市）	長峰神社の境内にあり、農繁期の水不足の時、岩穴をかきまぜると雨が降るとの伝説がある。
久慈平庭県立自然公園	県指定	馬淵川上流 （葛巻町・久慈市）	久慈川に沿った久慈溪流と、平庭峠を中心とした高原地域の 2 地域からなっており、それぞれ溪流景観、シラカバ林及びレンゲツツジの群落が美しい。
天狗森の夏氷山風穴	県指定 （天然記念物・地質鉱物）	米代・安比川上流 （八幡平市）	秋田県境の三本岳から東にのびる尾根の北斜面、標高 600m 前後のところがあり、夏でも氷が見られるところからこの名がついた。風穴としては規模が小さいが、地質学上、植物分布上価値が高く貴重である。
安比川上流域の木地師関係資料	県指定 （有形民俗文化財）	米代・安比川上流 （八幡平市）	木地師がどのような用具を用いて木地を挽いていたかを知ることができ、荒型など木地挽きの製作工程を理解するうえで重要な資料である。
不動の滝・不動川	県指定 （いわての名水）	米代・安比川上流 （八幡平市）	修験者の霊場地、豪族の祈願社として信仰を集めた桜松神社の隣にあり、落差は 15m。水量が極めて多く壮観である。

出典：いわての文化情報大辞典（<http://www.bunka.pref.iwate.jp>）
いわての自然保護平成 28 年岩手県環境生活部自然保護課
林野庁東北森林管理局 HP

資料編② 計画対象区域の一級河川及びその延長等

⑮ 河川名等	延長等
米代川	136 km ^{※4}
矢神川	6.0 km
根石川	3.2 km
瀬の沢川	7.6 km
兄川	13.0 km
大又沢川	1.0 km

※4：米代川の延長136kmは、秋田県能代市の河口までの距離です。秋田県能代市までの延長は、12.8kmです。

⑭-2 河川名等	延長等
(馬淵川)	
安比川	55.1 km ^{※3}
鍋越川	4.5 km
白沢川	1.4 km
黒沢川	12.3 km
打田内川	1.9 km

※3：安比川の延長55.1kmは、馬淵川への合流地点までの距離です。二戸市

⑭-1 河川名等	延長等
馬淵川	106 km ^{※2}
元町川	5.5 km
山形川 (安比川)	16.0 km

※2：馬淵川の延長106kmは、青森県八戸市の河口までの距離です。一戸町境までの延長（馬淵川上流）では41.5kmで

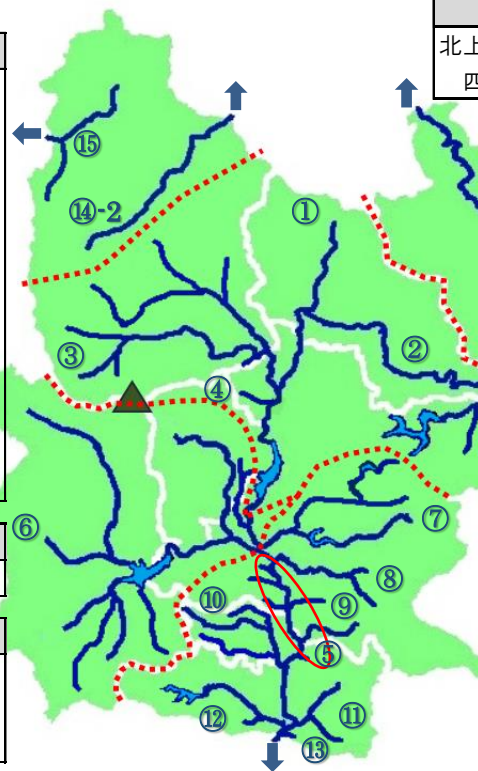
③ 河川名等	延長等
松川	38.4 km
焼切川	2.5 km
北ノ又川	7.0 km
赤川	0.2 km
夜沼川	1.2 km
落峯沢川	0.3 km
若旗小沢川	0.3 km
若旗沢川	0.3 km
尻志田川	2.3 km
赤川	33.0 km
長川	7.0 km
涼川	7.0 km

④ 河川名等	延長等
生出川	3.5 km

⑤ 河川名等	延長等
木賊川	9.2 km
木賊川放水路	1.5 km
巢子川	0.6 km

⑥ 河川名等	延長等
雫石川	33.2 km
葛根田川	25.3 km
南川	22.7 km
外柵沢川	6.4 km
鶯宿川	10.5 km
矢櫃川	12.0 km
御所ダム貯水池	湛水面積 640ha
諸葛川	10.2 km

⑩ 河川名等	延長等
岩崎川	18.0 km
芋沢川	7.1 km
太田川	8.4 km
大白沢川	7.9 km



① 河川名等	延長等
北上川	249 km ^{※1}
四十四田ダム貯水池	湛水面積 390ha

※1：北上川の延長249kmは、岩手町御堂に源を発し、県中央部を南下して一関市狐禅寺の狭窄部を通り、宮城県の上巻湾に注ぐ距離です。うち、紫波町と花巻市の境までの北上川上流としての延長は77.6kmです。

② 河川名等	延長等
丹藤川	59.9 km
岩洞ダム貯水池	湛水面積 624ha
軽松沢川	4.5 km
末崎川	5.2 km
猫足又沢川	0.3 km
向井ノ沢川	3.8 km

⑦ 河川名等	延長等
中津川	22.8 km
綱取ダム貯水池	湛水面積 79ha
米内川	17.8 km
外山川	11.0 km

⑧ 河川名等	延長等
築川	15.5 km
根田茂川	6.1 km

⑪ 河川名等	延長等
彦部川	5.0 km
赤沢川	4.0 km

⑨ 河川名等	延長等
新川	0.4 km
南川	4.9 km
大沢川	4.2 km
見前川	2.3 km
乙部川	7.3 km
天王川	0.6 km

⑫ 河川名等	延長等
滝名川	18.9 km
黒沢川	2.0 km

⑬ 河川名等	延長等
姉市川	0.9 km

参考：盛岡広域振興局土木部資料

資料編③ 河川等の水質測定結果（平成17～26年）

1 北上川上流水系の河川等水質測定結果（BOD）

水域名	測定地点	類型	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
北上川(1)	【芋田橋】	AA	0.9	0.9	1.1	1.1	0.9	1.4	0.6	1.1	1.3	0.8
丹藤川	【丹藤橋】	A	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	0.5	0.9	< 0.5	0.6	< 0.5	0.6
松川	【古川橋】	(未指定)	0.6	0.5	1.7	0.8	0.6	1.1	1.0	0.9	1.2	0.8
木賊川	【上堂三丁目】	(未指定)	1.4	1.0	1.8	1.1	1.9	1.0	1.3	1.7	1.0	0.9
大葛川	【綱取ダム流入前】	(未指定)	0.5	0.5	< 0.5	0.9	1.5	1.2	1.0	0.9	0.9	0.6
八木田川	【綱取ダム流入前】	(未指定)	0.9	1.0	1.6	1.6	1.1	1.1	1.3	0.9	1.3	0.7
中津川上流	【木々塚】	AA	0.5	< 0.5	0.9	< 0.5	< 0.5	0.8	0.6	< 0.5	< 0.5	< 0.5
中津川中流	【水道橋】	A	0.8	0.7	1.5	0.8	0.6	1.0	0.8	0.7	0.8	1.0
	米内川【落合橋】	A	0.9	0.6	0.8	0.5	< 0.5	0.8	0.7	0.5	1.4	0.8
中津川下流	【御厩橋】	A	0.6	0.8	0.7	0.7	0.6	0.6	0.8	1.0	1.2	0.9
雫石川上流	【春木場橋】	A	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	0.7	0.9	0.6
	葛根田川【葛根田橋】	A	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	0.8	1.0	0.6
	南川【矢川橋】	A	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	0.9	0.5
雫石川下流	【東北本線鉄橋】	A	0.8	0.9	0.9	0.7	0.7	0.7	0.9	1.1	1.5	0.8
	諸葛川【諸葛橋】	A	1.3	1.2	1.4	0.9	0.9	1.4	1.3	1.2	1.4	0.9
北上川(2)	【南大橋】	A	0.9	0.9	0.8	1.0	0.8	0.7	1.1	1.2	1.4	0.8
築川	【築川橋】	A	0.5	0.7	1.1	< 0.5	< 0.5	1.3	0.6	0.6	0.9	0.6
新川	【盛岡バイパス】	(未指定)	1.3	1.6	3.0	2.1	2.2	1.2	2.1	1.4	2.4	0.9
大沢川	【大沢川橋】	(未指定)	0.9	0.7	1.1	0.7	< 0.5	1.2	0.5	0.6	1.3	0.7
見前川	【見前橋】	(未指定)	0.8	0.9	1.0	0.7	< 0.5	1.2	0.8	1.0	0.9	1.0
乙部川	【乙部橋】	A	0.8	0.5	1.8	0.6	0.7	0.6	0.7	0.8	1.4	0.7
岩崎川	【新川橋】	A	0.9	0.9	1.7	1.2	0.7	1.1	0.6	0.6	1.2	0.6
彦部川	【彦部橋】	A	0.6	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	0.6	0.8	0.5
滝名川	【滝名川橋】	A	2.0	0.9	1.7	1.4	1.0	1.4	0.8	1.0	1.3	0.9
黒沢川	【越田橋】	(未指定)	3.8	2.0	2.0	2.3	2.2	2.0	1.4	1.7	1.5	0.9

2 米代川・安比川上流水系の河川水質測定結果（BOD）

水域名	測定地点	類型	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
米代川	【県境堰堤】	AA	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5
安比川	【黒沢橋】	A	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5
	【逢川橋】(二戸市)	A	< 0.5	0.9	0.7	< 0.5	< 0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5

3 湖沼の水質測定結果（上段：COD、下段：全燐）

水域名	測定地点	類型	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
岩洞ダム貯水池	【L-1(ダムサイト)】	A	2.1	1.1	1.8	2.1	1.8	1.7	1.4	2.1	1.6	1.6
岩洞ダム貯水池	【L-2(コオク)】	A	3.1	1.7	2.7	2.5	2.3	2.4	1.9	2.3	2.1	1.8
綱取ダム貯水池	【L-12】	A	1.2	1.0	1.2	1.9	1.4	1.3	1.4	1.5	1.5	0.8
御所ダム貯水池	【L-17(ダムサイト)】	A	1.7	2.0	1.9	2.0	2.0	1.8	1.7	2.0	1.9	0.7
四十四田ダム貯水池	【L-22(ダムサイト)】	A	2.2	2.4	2.1	2.4	2.3	2.2	2.1	3.1	2.2	0.7
岩洞ダム貯水池	【L-1(ダムサイト)】	(未指定)	0.009	0.009	0.029	0.007	0.007	0.007	0.009	0.009	0.007	0.018
綱取ダム貯水池	【L-12】	湖沼Ⅲ	0.008	0.007	0.011	0.012	0.013	0.012	0.016	0.010	0.015	0.015
御所ダム貯水池	【L-17(ダムサイト)】	湖沼Ⅱ	0.010	0.009	0.009	0.009	0.008	0.009	0.007	0.008	0.007	0.006
四十四田ダム貯水池	【L-22(ダムサイト)】	湖沼Ⅲ	0.020	0.026	0.020	0.022	0.022	0.022	0.027	0.023	0.018	0.019

表中の「< 0.5」は0.5mg/l未満であることを、また、網掛けをした値は環境基準を達成しなかったことを示しています。

出典：公共用水域水質測定結果 岩手県環境生活部環境保全課

資料編④ 用語説明

第1章

水源涵養

大雨が降った時の急激な増水を抑え、しばらく雨が降らなくても流出が途絶えないようにする等、水源山地から河川に流れ出る水量や時期に関わる機能を言います。もともと涵養という言葉には、自然に水がしみ込むように徐々に養い育て行くという意味があり、水源涵養機能という言葉にも、一朝一夕ではなく、長い時間をかけて水源として機能を育むという意味が込められています（国立研究開発法人森林総合研究所 HP）。

圏域

盛岡広域振興局管内の広域生活圏を川の流域を基本として地形的要因、資産状況等を考慮し圏域を分けています。北上川上流流域については、「北圏域」、「西圏域」及び「東圏域」の3つの圏域とし、米代川の流域は「米代川上流圏域」、馬淵川の流域は「馬淵川上流圏域」とし、全部で5つの圏域としています。

盛岡広域管内流域基本計画にある「圏域」は、これらを参考に設置しましたが、計画の推進する協議会の体制等を考慮し、一部を変更しています。

いわて県民計画

県の総合計画のこと。平成27年度には、今後4年間に重点的、優先的に取り組む施策や目標などを盛り込んだ、いわて県民計画「第3期アクションプラン」が策定されました。

第2章

生産年齢人口

15歳以上65歳未満の年齢に該当する人口のこと。

表1 計画対象区域の将来人口推計

市町名	2010年人口（人数）		2040年将来人口推計（増減率）	
	総人口	生産年齢人口	総人口	生産年齢人口
盛岡市	298,348	194,848	-18.2	-32.6
八幡平市	28,680	16,432	-42.6	-54.6
滝沢市	53,857	36,657	-5.8	-23.5
雫石町	18,033	10,767	-37.6	-50.9
葛巻町	7,304	3,837	-50.3	-60.7
岩手町	14,984	8,609	-42.6	-53.4
紫波町	33,288	20,657	-22.2	-33.7
矢巾町	27,205	17,815	-20.9	-37.8
岩手県全体	1,330,147	799,314	-29.5	-40.5

耕畜連携

作物栽培をしている農家と畜産農家が協力し、稲わら・飼料と堆肥などをお互い交換する循環型農業の取組み。

平成の名水百選

平成 20 年に、水環境保全の一層の推進を図ることを目的として、環境省が選定したものの。また、昭和 60 年には、全国に存在する清澄な水を再発見するとともに、これを広く国民や県民に紹介することを目的として、環境省が「昭和の名水百選」、岩手県が「いわての名水二十選」を選定している。

特別栽培

化学農薬と化学肥料を慣行レベルの半分以下に減らす栽培方法のこと。

旧松尾鉱山

旧松尾鉱山は、北上川の支流の一つ赤川の上流、八幡平の中腹に位置しており、硫黄の生産により一時は「雲上の楽園」と呼ばれ隆盛を極めたが、重油脱硫による安い回収硫黄が出回るなどして経営が悪化し、昭和 47 年に鉱業権を放棄し事実上閉山した。この鉱山から大量の強酸性水が赤川に流入し、北上川を汚濁していたため、大きな社会問題となった。

露天掘やズリの堆積等により荒廃しました旧松尾鉱山跡地の森林は、昭和 61 年から現在まで、県や団体による植樹活動が行われている。

二次林

台風や噴火などの自然災害や伐採などによって失われ、その後に自然に再生した森林のこと。

森林浴の森日本 100 選

環境庁（当時）、林野庁、建設省（当時）、緑の文明学会が、日本の森林を 21 世紀に引き継ぐことを目的として昭和 61 年に制定したもの。岩手県では、安比高原ブナ林のほか、高田松原（陸前高田市）、十二神自然観察教育林（宮古市）が選定されている。

第 3 章

国有林

国有林は、政府によって保護管理されている森林のこと。主に林野庁が管轄し、日本の森林面積のおよそ 3 割を占めている。

民有林

民有林とは、個人や私企業の所有する私有林、県や市町などが所有する公有林、個人が共有する共有林がある。

不在村森林所有者

所有する森林とは別の市町に居住する個人又は事務所がある法人のこと。

松くい虫被害

マツノザイセンチュウという体長 1mmにも満たない小さな線虫が松の樹体内に入ることによって引き起こされる被害。マツノマダラカミキリというカミキリ虫が線虫を松に運んで被害を蔓延させます。

木質バイオマス

木質ペレット、木質チップ、薪、製材加工品の廃材など木材由来の生物資源のこと。

農業・農村が有する多面的な機能

農村で農業生産活動が行われることにより生ずる、食料その他の農産物の供給の機能以外の多面にわたる機能のこと。具体的には、国土の保全、洪水の防止、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承等。

川づくり懇談会

快適に安心して暮らせる社会の実現や、自然と共生し、循環を基調とする社会の実現にむけ、新しい時代に対応した河川のあり方について検討を行い、提言を行うことを目的として、地域の代表、環境、漁業、気象、治水等の学識経験者等を委員として河川法第 16 条に基づき平成 7 年に岩手県が設置したもの。

多自然川づくり

治水上の安全性を確保した上で、動植物の生息・生育環境や利活用等に配慮したその川本来の姿に回復しようとするもの。

BOD

生物化学的酸素要求量（Biochemical Oxygen Demand）のこと。河川について水域類型ごとに基準値が設定されている。有機物による汚濁のおおよその目安として使われ、水の有機物汚濁が進むほど値は大きくなる。計画対象区域の河川は、AA あるいは A 類型に指定されている。

COD

化学的酸素要求量（Chemical Oxygen Demand）のこと。湖沼や海域について水域類型ごとに基準値が設定されている。BODと同様に、有機物による汚濁のおおよその目安として使われ、水の有機物汚濁が進むほど値は大きくなる。計画対象区域の湖沼は、全てA類型に指定されている。

類型指定

水域の利用目的、水質汚濁の状況、水質汚濁減の立地状況などを考慮して公共用水域の水域類型の指定を行っている。水域類型は、河川が6種類、湖沼が4種類、海域が3種類に分けられている。水域類型の指定は、政令で定める特定の水域については環境大臣が行い、その他は都道府県知事が行っている。

表2 河川の類型指定とBODの基準値

類型	AA	A	B	C	D	E
BOD (mg/L)	1 以下	2 以下	3 以下	5 以下	8 以下	10 以下

表3 湖沼の類型指定とCODの基準値

類型	AA	A	B	C
COD (mg/L)	1 以下	3 以下	5 以下	8 以下

表4 湖沼の類型指定と全燐の基準値

類型	I	II	III	IV	V
全燐 (mg/L)	0.005 以下	0.01 以下	0.03 以下	0.05 以下	0.1 以下

富栄養化

湖沼や内湾などの閉鎖性水域で窒素、燐などの栄養塩類の過剰な流入により、水域の一次生産量が異常に増大して生態系に異変が生じ、水質が累進的に悪化する現象のこと。

特定外来生物

人間の活動によりほかの地域から入ってきた生物を外来生物といい、そのうち、本来の生態系に影響を及ぼすものや及ぼす恐れのあるもののこと。